

こんにちは。嘱託員の村上です。

今日、10月5日は「時刻表の日」です。『記念日の事典』(1999年、東京堂出版)によると、この記念日は明治27年(1894)10月5日に日本初の月刊時刻表『汽車汽船旅行案内』(庚寅新誌社)が出版されたことに由来するそうです。

さて、市民図書館7階の雑誌コーナーでは月刊の時刻表『JTB時刻表』(株式会社 JTB パブリッシング)を読むことができます。今月号をみると、巻頭「43. 10 (よんさんとお)」の特集が掲載されていました。「43. 10」については先月の私の担当回(No. 322)でも少しご紹介しましたね。

「43. 10」とは今から50年前の昭和43年(1968)10月、日本国有鉄道(国鉄)が行ったダイヤ改正のことです。青森と東京を結ぶ東北本線は全線の「複線電化」が完了して大幅なスピードアップが可能となったことから、その花形といわれました。『交通公社の時刻表』(昭和63年に『JTB時刻表』と改称)の昭和43年10月号でも表紙や口絵に東北本線の写真を採用しており、「43. 10」の中心的な路線であったことがわかります。

ダイヤ改正当日(10月1日)には全国各地で記念式典が行われました。では、青森市で行われた催しについてご紹介しましょう。

まず、青森駅では4番ホームにおいて特急「はつかり2号」の出発式が行われました。午前9時の発車に合わせ、石田礼助国鉄総裁・竹内俊吉青森県知事・奈良岡末造青森市長の3人がテープカットを行い、その隣で室津哲三青森商工会議所会頭がくす玉を割りました。



特急「はつかり2号」の出発式
(広報広聴課蔵)

メールマガジン「あおもり歴史トリビア」(発行:青森市民図書館歴史資料室)

続いて、午前10時から祝賀パレードが行われました。パレードはミス「はつかり」・準ミス「はつかり」を乗せたオープンカー、花自動車(装飾を施した自動車)、そして青森山田高校・盛岡鉄道管理局・陸上自衛隊第9師団のブラスバンドによるもので、青森駅前を出発し、市役所前を経由して青森商業高校(現青森市民体育館)へと向かいました。



青森山田高校のブラスバンドとバトンガール
(広報広聴課蔵)



ミス「はつかり」・準ミス「はつかり」を乗せたオープンカー
(広報広聴課蔵)

そして、午前11時30分からは県営体育館(現アピオあおもり)で「東北本線複線電化全通式」が行われました。この式典には石田国鉄総裁をはじめとする鉄道関係者や工事関係者など1000人以上が集まり、東北本線全線の「複線電化」完成を祝いました。

このように、国鉄総裁が参加する記念式典の会場となった青森市は「43.10」を象徴する場所といえるでしょう。



東北本線全線複線電化完成を祝う装飾が取り付けられた青森駅
(広報広聴課蔵)

※今回の内容は『ものがたり東北本線史』(1971年 日本国有鉄道仙台駐在理事室)、『新青森市史』通史編第四巻 現代(2014年 青森市)などを参考にしました。